

平成30年度 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本翻訳者協会

1 事業の成果

活動内容・研修会の頻度は前年度とあまり変わらなかったが、地域活動は国外のものも含め定着した。会員数は昨年度に比べほぼ横ばいであった（平成31年3月31日現在：約700人）。研修会・エッセー集出版無料配布その他の非営利活動を通じ、翻訳に対する一般社会の認識・理解も或る程度得られ、翻訳者・通訳者の立場、仕事環境改善されつつある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
分野別分科会	分野別分科会は前年度に引き続き、法律翻訳、製薬翻訳、通訳、特許翻訳、エンターテインメント翻訳分科会、翻訳ツール分科会の活動が年間を通して又はPre-IJETで研修会およびワークショップが実施された。JATTIP（自主出版）は活動休止中。	各分科会とも年約2～3回研修会・ワークショップを開催。	東京、関西。 オンラインでの研修会は全国・海外含む	各分科会の実行委員は4名から6名。	会員および一般300人以上 オンラインによるものは会員に限定	1780
地域活動委員会	東京活動分科会、関西地区活動委員会、東北地区活動委員会、米国中西部活動委員会は翻訳に関係する種々のトピックに沿い、ワークショップ、研修会を実施。ネットワーキングの機会も提供。	東京地区活動委員会はほぼ毎月研修会又は交流の機会を持った。関西分科会は1回。米国中西部活動委員会は3回。東北地区活動委員会は0回。	東京、関西地区、仙台、米国オハイオ州	各地域活動委員は平均6名。	研修会参加人数は延べ約200人。会員及び一般 オンラインによるものは会員に限定	1544
翻訳コンテスト	翻訳者養成の目的で、新人翻訳者を対象に、会員、非会員を問わず、広く募集する。 英日翻訳部門で5名、日英翻訳部門で5名を受賞者として選出。選出の過程で応募者に翻訳の添削、意見・提案書を提供。	平成30年10月～平成31年3月	全国・海外	審査員も含み、合計13名	実務翻訳経験3年未満の会員および一般 応募者：66名 英日：38名 日英：28名	630
E-塾	実務翻訳者にオンラインで1,2ヶ月間翻訳ワークショップを提供。	平成31年2月～平成31年3月	全国・海外	3名	会員に限定。 一回7～9名。	0

エッセー集作成・配布	「翻訳者の目線」を毎年出版。会員、企業、教育機関に無料配布。 2500部発行。	平成30年5月～平成30年11月	全国・海外	2名	会員、一般、教育機関 約2300部配布。	661
英日・日英国際翻訳会議 (IJET)	英日・日英翻訳者・通訳者のために情報提供、ワークショップ、研修会を開催。国際会議前に、プレイベントを開催。 平成30年度の第29回会議は、大阪市中央公会堂およびグランフロント大阪で開催。 平成31年度の第30回会議の準備は平成30年度初め頃から開始。	第29回会議：平成30年6月29～7月1日。 第30回会議のプレイベント：特になし。	第29回会議：大阪市中央公会堂およびグランフロント大阪 第30回会議：プレイベントは特になし。本大会は令和元年6月に豪州ケアンズ開催予定。	IJET29実行委員：11名 プラス 当日ボランティア 約20人	会員および一般。参加者：400名（基調講演も含む）	13,776 (IJET29及びIJET30を含む)
メーリングリスト (Forum)	情報・意見交換の場として会員に提供。 一般会員と分野別メーリングリストとある。	通年	全国。海外	モデレーター：2名	会員のみ。	0
ウェブサイト運営管理 (SNSも含む)	ウェブサイトを運営管理。ニュース、イベント告知、ブログ、JATディレクトリ、求人欄など。会員以外への情報提供のために各種SNSも活用。 平成30年度中に、eCommerceシステムを拡張してJATのすべてのイベントに適用。	通年	全国・海外	14名	会員及び一般	2,361
外部団体との交流協力	JTF（日本翻訳連盟）の翻訳祭の一部を担当、講師及び情報を提供。 ISOの会合に参加。 FIT（国際翻訳者連盟）の会員として協力支援。	通年 JTF翻訳祭は平成30年10月。 ISO会合は東京。	京都、東京	5名	不特定多数	1

(2) その他の事業 (なし)